



助けあい、支えあい、ともにつくる くらしの安心 (2020年ビジョン) をめざして ~私たちのありたい姿~

いわて生協は、協同の力で復興支援に取り組んでいます。

「バスボランティア」 開始から100回に！

2011年6月に開始し、7月13日で100回に。
これまでに、のべ3,760人がボランティアと
して参加。全国の生協からのたくさんのボ
ランティアもいっしょに活動しています。



6月22日(土)、陸前高田市の国道沿いに
ひまわりの種を蒔きました。



黄色のビブスはいわて生協の、緑色のビブスは
大阪や奈良の生協からの、組合員ボランティア。

4台目の「にこちゃん号」を運行

組合員の募金と全国の生協からの支援により運行している移動店舗。5月
11日からけせん地域で4台めをの運行をスタート。特に要望の多かった
県立高田病院前や仮設団地など11か所をまわっています。



復興支援地産地消フェスタ in 牧野林

5月18日(土)・19日(日)の2日間で2万人が来場。沿岸被災地
から26団体が出店し、たくさんの利用があり喜ばれた。



東日本大震災支援募金 5,857万7,047円

(2013年6月20日現在、日本生協連からの支援金を含む)

2,000万円を岩手県へ義援金として贈呈(11年5月)。残りを「復興支援基
金」として支援活動に活用しています。

※11~12年度は4,740万622円を活用しました。

2013年3月21日～6月20日の「復興支援基金」活用状況

被災地でのふれあいサロン(バス代、運営費など)	109万4,310円
被災地でのお楽しみ企画(交流会、バスツアーなど)	88万7,803円
グループ活動費用補助(52件)	55万4,229円
CVCバスボランティア(バス代、ニュース費用など)	23万2,490円
計	276万8,832円



いわて生協は、協同の力で 支援活動を続けていきます

3年間の支援「ありがとう!」



移動店舗

移動店舗「にこちゃん号」は、組合員の募金と全国の生協からの支援で購入。現在4台が宮古・釜石・けせん地域の仮設団地58か所・4千戸を1日おきに訪問しています。



被災生産者を支援

被災した生産者の復活と、その商品利用で復興を支援。供給額はこの1年で3億円、3年間で6億1千万円に。また、被災グループの手作りの品販売も3年間で2,800万円になります。



ふれあいサロン

沿岸6市町村の64仮設団地・地域の41会場で、心のケアとふれあいを目的に毎月開催し、内陸の2店舗でも月2回開催。この2年半でのべ1,113回開催し、11,025人が参加。ボランティア参加は、のべ4,760人。



グループ活動を支援

被災された方々の生きがい作りになればと、5人以上のグループでの活動を支援。これまでに36グループへ計448万円を補助しています。

あなたも支援活動をしてみませんか?

お問い合わせは組織本部へ (月曜～土曜) 9時～18時
☎019-603-8299

今年度の 東日本大震災支援募金 986万3,162円

(2月20日現在)
みなさんからの募金が支援活動を支えています。
ぜひ募金にご協力ください。

今年度の「復興支援基金」活用状況 (2月28日現在)

被災地でのふれあいサロン	749万7,636円	バスボランティア	277万8,479円
被災地での楽しみ企画	383万989円	その他	25万1,555円
グループ活動支援	224万7,361円	計	1,660万6,020円

3年間の「東日本大震災支援募金」は累計6,673万4,315円で、うち2,000万円を岩手県へ。残りを「復興支援基金」として累計6,400万6,642円を支援活動に活用。



いわて生協は、協同の力で 支援活動を続けています。

●4～6月のおもな支援活動●

思いをつなげて! 広めて!

「復興支援 地産地消フェスタin 牧野林」に1万8千人!



沿岸からの27団体を含む72団体が出店。2日間で1万8千人が来場し、「買って、食べて、復興を支援しよう!」と大いに賑わいました(5/17・18)。



陸前高田市「椿のみち」の支援スタート

復興を願って設立された椿油製造工房「椿のみち」。椿油は、田老町漁協のわかめなどと一緒に「クーネ化粧品」の原料にもなります。



第118回バスボランティアで、椿の苗20本を植樹(5/17)。今後、椿畑の手入れなどの支援を続けます。

「ふれあいサロン」のための“キット作り”

手芸材料などを揃える“キット作り”のボランティア。「沿岸まで出かけるのはむずかしいけど、これならできる!」と内陸で広がっています。



箸入れやティッシュケースなどの材料を揃えました(5/23滝沢ふるさと交流館にて)。

あなたも支援活動をしてませんか?

お問い合わせは組合員活動チームへ
☎019-603-8299 (月～土曜 9～18時)

今年度の
東日本大震災支援募金
206万2,186円
(6月20日現在)

みなさんからの募金が支援活動を支えています。支援活動を継続するため、ぜひ募金にご協力ください。

今年度の「復興支援基金」活用状況 (6月20日現在)

被災地でのふれあいサロン	185万9,616円	リフレッシュバスツアーバス代	49万5,250円
グループ活動への補助	48万3,979円	その他	9万309円
バスボランティア	44万7,575円	計	337万6,729円

昨年度の募金額は1,160万円で、2,046万円を支援活動に活用しました。今年4月「コープアクション募金」2,299万円をいただき、今年度の支援活動費用のメドは立ちましたが、今後も何年間か支援活動を継続するために、引き続き募金へのご協力をお願いします。



いわて生協は、協同の力で 支援活動を行っています。

忘れない 伝える 続ける つながる

「3行レシピ&専用ファイル」プレゼント!



8/13
陸前高田市の
仮設団地にて

「手軽に作れて助かるわ」と好評の「3行レシピ」。第4集が発行され、「つづっておけるように」とファイル作りの支援がスタート。コープこうべから250部、コープあおもりから140部などといわて生協分、合わせて約500部が寄せられ、移動店舗「にこちゃん号」利用者に配布しています。



食の支援「3行レシピ」は、昨年秋からこれまでに4冊発行。手作りファイルは、色も素材もさまざまです。

沿岸被災地の商品を利用し、復興を応援



9/6・7「カルチャーパークあてるい復興支援地産地消フェスタ」(奥州市)には、沿岸被災地からの22団体を含む72団体が出店。2日間で1万9千人が来場し、おいしさと笑顔が広がりました。

これからも、できることを続けたい



9/11 盛岡市のベルフ青山にて

店舗では、毎月11日の「震災を忘れない日」を山場にし、沿岸被災地の商品供給や募金の呼びかけを強めています。

あなたも支援活動をしてみませんか?

お問い合わせは組合員活動チームへ
☎019-603-8299 (月~土曜 9~18時)

**今年度の
東日本大震災支援募金
348万6,215円**
(8月20日現在)

みなさんからの募金が支援活動をえています。支援活動を継続するため、ぜひ募金にご協力ください。

今年度の「復興支援基金」活用状況 (6月20日現在)

被災地でのふれあいサロン	414万1,973円	グループ活動への補助	74万3,162円
リフレッシュバスツアーバス代	97万8,410円	その他	9万309円
バスボランティア	74万7,495円	計	670万8,063円

昨年度の募金額は1,160万円で、支援活動の費用は2,046万円でした。全国の生協からも募金が寄せられましたが、今後も支援活動を継続するにはみなさんのご協力が必要です。店舗での募金のほか、共同購入OCR注文書でも募金ができますので、どうぞよろしくお願いします。



いわて生協は、協同の力で 支援活動を行っています。

みんなの笑顔が見たいから

思いっきり体をうごかして、たのしかったよ！

「高田道場ダイヤモンド・キッズ・カレッジ」に協賛（10月19日）



5歳から小学6年生までの子どもたち300人が思い切り体を動かし、楽しい時間を過ごしました。

元総合格闘家の高田延彦さんが主宰する高田道場が、「震災後の子どもたちに、思いっきり身体を動かす機会を」と、宮古市で3度目の「ダイヤモンド・キッズ・カレッジ」を開催。いわて生協も協賛しました。



山本正徳宮古市長（中央）と、高田延彦さん（元総合格闘家）・向井亜紀（タレント）さん夫妻。

宮古コープ復興応援まつり Part 4（11月3日）

宮古市と沿岸広域振興局の後援のもと開催し、約1万人が来場。管内の8事業者を含む県内25団体が出店したほか、全国11生協から名産品の特別出店もあり、おおいに喜ばれました。



「コープかがわ」のみなさんの「あったか讃岐うどん」が大好評でした。

“被災者の生活再建”をすすめる署名

被災地の最大の願い「安心して暮らせる住まいを一日でも早く」を実現するため、『被災者生活再建支援制度』の拡充を求める署名に取り組んでいます。ぜひご協力ください。



今年度の
東日本大震災支援募金
636万4,582円
(3月21日～11月13日)

今年度の「復興支援基金」活用状況（3月21日～11月21日）

被災地でのふれあいサロン	577万2,858円	被災地での自主企画	35万5,711円
リフレッシュバスツアーバス代	200万8,405円	子ども支援企画	21万6,000円
バスボランティア	129万4,703円	その他	10万8,255円
グループ活動補助	108万5,884円	計	1,084万1,816円

みなさんからの募金支援活動を支えています。支援活動を継続するため、ぜひ募金にご協力ください。

COOP いわて生活協同組合

2020年ビジョン ～私たちのありたい姿～
助けあい、支えあい、ともに生きるくらしの安心

2014年11月発行



いって生協は、協同の力で 支援活動を続けています。

思いをつなぎ、ともに未来へ！

仮設住宅 36 か所で「クリスマス・年末食事会」



すき焼きのほか、ならコープさんからの「三段おせち重」でお正月気分(12月30日大槌)。

大船渡・陸前高田・大槌の仮設住宅36か所で「クリスマス・年末食事会」を開催。いって生協と関西3生協のボランティアのべ220人が1,000食を提供。みんなで作って食べました。



大阪の生協のみなさんと「たこ焼き」作り(12月24日大船渡)。

浅草・長國寺から“日本一の大熊手”



「西の市」で知られる東京浅草・長國寺から「復興に役立てたい」と2011年から毎年宮古市の商業施設に寄贈されている大熊手。4回目となった昨年12月、マリンコープドラの正面入口に、宝船様式の大熊手が奉納されました。

手作りのクリスマスカードお届け



「忘れないよ。いっしょにがんばろう!」の思いを込めて、いって生協や全国6生協の組合員さんが作ったクリスマスカード。お菓子を添え、仮設住宅に住む組合員さんなど2,100人へ届けました。

今年度の
東日本大震災
支援募金
736万4,642円
(14年12月20日現在)

今年度の「復興支援基金」活用状況 (14年12月)	
被災地でのふれあいサロン	679万9,865円
リフレッシュツアーバス代	221万1,729円
バスボランティア	141万9,983円
グループ活動補助	118万4,100円
クリスマスカードお届け	42万3,134円
その他	72万9,643円
計	1,276万8,454円

みなさんの募金が支援活動を支えます。ぜひご協力をお願いします。